

日本・台湾小児科シンポジウム開催報告

日本小児科医会国際委員会担当理事

進藤 静生

10年くらい前より交流のあった台湾・高雄小児科医会と日本小児科医会との学術交流会を平成29年度は福岡で開催することになりました。

今までは、日本から台湾へ出かけて行って交流会を行なっていましたが、いつも台湾の先生方にお世話になるばかりだったので、6年ぶりに福岡で開催することにして準備を始めました。以前より交流のあった、韓国・仁川の小児科医会を含む日本・台湾・韓国の東アジア3カ国で開催を計画しました。しかし仁川の会長交代や韓国開業小児科医の内部事情などにより連絡が取れず、時間も差し迫っていたため今回は日本・台湾の2カ国で開催することにいたしました。

平成29年9月16日に福岡のエクセル東急ホテル博多で開催を

決定して、新装になった日本小児科医会のホームページや小児科医会ニュースにも掲載していただきアナウンスいたしました。

当日は福岡県小児科医会の先生方を中心に準備をしていただき、台湾側からは10名のドクターと家族2名合計12名、日本側からは沼口俊介元担当理事、南武嗣国際委員会副委員長を始め福岡県小児科医会会員を中心に、24名の先生方に参加していただきました。台湾の先生方は台風18号の上を飛び越えてきていただき無事福岡に到着されました。演者の一人である沼口俊介先生は台風のため東京から飛行機が飛ばない可能性があるため、急遽、医院を休院し飛行機を変更して駆けつけていただきました。また松平会長には開会の挨拶をお願いしていましたが、翌日に予定している会のためやむなく欠席となりました。

17時より荒木速雄国際委員会委員の司会でシンポジウムは開催され、高雄小児科医会の頼聰宏会長が日本訪問の挨拶をされ、進藤が歓迎の挨拶をいたしました。座長は稲光毅日本小児科医会理事と高雄小児科医会の劉錦揚先生がされました。

演題は

1. “Clinical Diagnosis of Influenza in Children with Negative Rapid Influenza Diagnostic Test by Lymphopenia and Lower -Reactive Protein Levels”

Dr. Lin Wang

2. “Collaboration of Medical Staff on Primary Health Care in Laos”

Dr. Takahiro Tahara

3. “Clinical Application of Probiotics”

Dr. Tai-Ju Wang

4. “ A model training program to learn essentials of pediatric emergency care for primary care physicians”

Dr. Hidefumi Ichinose

5. “ Vaccination policy creates in Taiwan”

Dr. Liu Ching Yang

6. “ Problem of Pertussis in Japan”

Dr. Shunsuke Numaguchi

台湾、日本側からそれぞれ3題ずつの演題で和やかな雰囲気のもと
活発なディスカッションが行われました。

次回は来年高雄で開催しようとの希望が台湾側から述べられました。



エクセル東急ホテル博多の会場



頼聰宏高雄小児科医会会長・福岡県小児科医会会員と受付にて



沼口俊介会員の発表



田原卓浩会員のディスカッション風景



参加者全員の集合写真